F2-37

軽井沢別荘地景観が観光資源となっている要因に関する研究
-別荘地の道路沿い樹木と道路幅員を視点として-

Factor that Karuizawa villa place scenery becomes the tourist attractions
- Trees along the road and road width in the villa place -

○畑中梨紗子[1]，橋野佑生[1]，湯澤泉実[1]，小木曽裕[2]
Risako Hatanaka[1], Yuu Hashino[1], Izumi Yuzawa[1], Yutaka Kogiso[2]

Abstract: The specialty of the tree gives a feeling of freedom for the street scenery of the Karuizawa villa place.

1. 背景と目的

軽井沢は避暑地や自然を象徴とする別荘地として日本を代表とする観光地である[1]. その中で調査によると, 緑・自然や気候・気温を求めて軽井沢に訪れている日本人は約８割, 外国人は約６割である[2]. ここでは, 他の別荘地では感じることのできない空間があり, その一つとして, 別荘地の道路沿いの樹木が, 一見閉鎖的である緑の空間を開放的に感じさせている. それが, 観光資源の一要因となっていると思われる.

そこで本論では, 軽井沢別荘地の景観がどのような要因で観光資源となっているのかを, 別荘地道路沿いの樹木と街路の関係から紐解いていくことを目的とする.

2. 研究方法

調査方法は, 道路幅員と道路沿いの樹木について植林エリア[3]の中から鹿島の森, 旧軽井沢, 三井の森, 南ヶ丘の４つの別荘地を対象として, 街路と道路沿いの樹木の測定を行った. また文献調査, ヒアリング調査も行った.

1) 樹木・道路調査:樹木の樹種・樹高・枝下・目通り・葉張及び道路幅員を suunto のクリノメーターM5/360PC と 50m メジャーを用いて測定した. 2) 文献調査:軽井沢町自然保護対策要綱, 軽井沢の歴史などについて 3) ヒアリング調査:内田青蔵(神奈川大), 軽井沢町観光協会事務局長, 三井の森主任の方へ

3. 調査結果

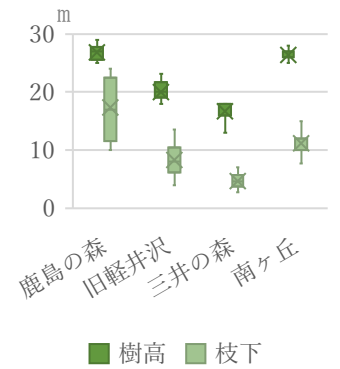

Figure 1, Tree height and branch height box plot

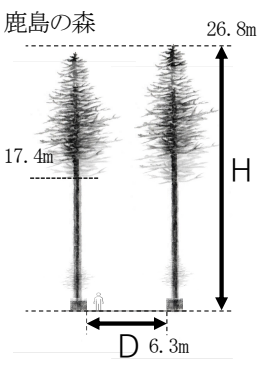

Figure2, Relations of D/H in the street

高木の樹高と枝下の高さと道路幅員の数値を測定して, 箱ひげ図(Figure1)と D/H(Figure2)[4]にて解析した. 鹿島の森の高木の樹高平均は 26.8m, 枝下平均は 17.4m, 道路幅員は 6.3m, D/H は 0.24 であった. 旧軽井沢の高木の樹高平均は 20.0m, 枝下平均は 8.3m, 道路幅員は 3.2m, D/H は 0.16 であった. 三井の森の高木の樹高平均は 16.7m, 枝下平均は 4.7m, 道路幅員は 4m, D/H は 0.24 であった. 南ヶ丘の高木の樹高平均は 16.7m, 枝下平均は 11.2m, 道路幅員は 4.2m, D/H は 0.16 であった.

4. 考察

D/H の値は 1.0 を大きく下回る 0.16 と 0.24 であったことから, 別荘地周辺の街路空間は一見閉塞的な空間であるが, 樹高に対する枝下の高さが高いことから, 別荘地が垣間見える街路空間である. また, この樹木は明治時代から植林されたカラマツやウラジロモミなどが成長したもので, それに, オオモミジやミズキなどの落葉樹も植栽され, 色どりを添えている. このことから, 数値上では閉鎖的ではあるが, 実際は見通しがきく心地よい空間が形成されていると考えられる.

5. まとめ

軽井沢の別荘地の街路においての景観は, D/H の数値から閉鎖的な空間であるということは自明である. しかし, この H は建物ではなく樹木であることや, 軽井沢は特有で枝下が高く, 街路の解放感を創出している. また, 植栽された落葉樹や低木も四季によって変化する効用もある. このような要因が, 軽井沢別荘地景観に影響を与えている. そのことから, この特殊性が価値のある観光資源の一要因となっていると考えられる.

6. 参考文献

[1]安島博幸, 十和田朗(1991)日本別荘地ノート, 星雲社, pp304　[2]福田拓哉, 佐々木隆成, 池田はる, 真砂哲也, 桃井悠, 西原大夢, 小木曽裕(2019), 日本人観光客と外国人観光客の軽井沢への意識の差異, pp139　[3]石塚奈々子, 氏家日花莉, 植田奈津芽, 小木曽裕(2022)浅間山噴火の歴史と植林による軽井沢別荘地への影蜜についての研究, 日本造園学会支部大会, p120
[4]D/H:街路幅員沿いと建物高さの比を使い, 建物を樹木として置き換えた.

１：日本大学理工学部まちづくり工学科, 学部生　２：日本大学理工学部まちづくり工学科, 教員